

# MYコミ協 やまがた

No. 16



発行日 平成 27 年 1 月 10 日  
 発行 山湯地区コミュニティ協議会 総務部会  
 事務局 山湯会館内  
 ☎ 025-286-0155  
 FAX 025-286-0245  
 新潟市補助事業



チェリーブLOSSUM



チーム山湯小

とやの物語2014年  
 九月二十一日(日)晴天に恵まれた中、新潟県スポーツ公園及び鳥屋野湯周辺で「とやの物語2014」が行われました。

## 環境講演会

最初に講師の方が鳥屋野湯について公演を行い、小、中、高校生が作成した「鳥屋野湯夢かた」についての説明を行い、担当コメンテーターの方が解説されていました。その後小学生対抗「とやの湯ものしりクイズ」が行われ、山湯小、桜が丘小から各一チームが参加し、山湯小学校チームは優勝、桜が丘小学校チームも上位に入りました。



## 「ハイパージュニアレスキュー」講習会

六月二十八日(土)、新潟市体育館で「ハイパージュニアレスキュー」の講習会が行われました。山湯地区からは、山湯中学校の一年生七名が参加しました。

この「ハイパージュニアレスキュー」講習会は、新潟地震五十周年事業として新湯地震を知らない中学生世代に対し行なわれたものです。訓練内容として、防災講話、災害時要援護者搬送訓練、避難所設置訓練、防災に関するクイズ、新湯地震現地確認クルーズが実施されました。その中で避難所設置訓練時には、山湯中学校の生徒の皆さん、講師の方から褒められていました。

今回参加してくれた中学生の皆さんには、地域防災の力となってくれる事を期待したいと思います。



ダンボールベッド作成訓練



場所の区分け



搬送方法の練習

「すばらしい自然、ちょっといい街かど、まつりや行事、コミュニティ活動などを写そう！」

小・中学生の部もあります

第7回  
山湯コミ協

# 写真コンテスト



## 募集要項

地域の良さや宝を再発見し、地域の皆さんに知ってもらうため「山湯コミ協 写真コンテスト」を実施します。コンパクトカメラでもオッケー、多数の応募をお待ちしています。

- 募集期間 平成 26 年 11 月 1 日～平成 27 年 1 月 26 日
- テーマ 山湯地区の自然やまちなみ等の風景、まつりや行事・コミュニティ活動等
- 応募資格 山湯地区内の居住者
- 応募規定 作品サイズは、A4、四つ切、ワイド四つ切 (⇒ A4 が好ましい)  
(※小中学生の部はハガキサイズ～2Lでも可)

作品は未発表のものに限ります。作品は原則返却致しませんが、返却希望の方はお知らせ下さい。また、著作権は主催者に帰属します。

- 応募方法 写真の裏に「氏名・(学年)住所・電話番号」「題名」「撮影場所やコメント」を貼って、山湯会館内山湯コミ協事務局へ直接持参するか郵送で

- |   |          |      |        |
|---|----------|------|--------|
| 賞 | ■最優秀賞    | 1点   | 賞金 1万円 |
|   | ■優秀賞     | 3点   | 〃 3千円  |
|   | ■コミュニティ賞 | 1点   | 〃 2千円  |
|   | ■たから発掘賞  | 1点   | 〃 2千円  |
|   | ■入選      | 8点程度 | 〃 千円   |

□小中学生の部  
最優秀賞 1点 優秀賞 2点 入選 多数 (商品は図書券等)

- 発表 2月下旬～3月下旬 入賞作品は山湯会館等に展示します
- 主催 山湯地区コミュニティ協議会 (長湯 827 山湯会館内 ☎ 286-0155)  
(問い合わせ まちづくり部会 松田 ☎ 286-9894)



## 三時間ツレマラソン

山湯中学校  
男子バスケットボール部  
三位入賞

去る四月二十七日(日)「カナル彩2014」が実施されました。

当日は会場で様々なイベントが催されましたが、その中で「ビッグスワン三時間耐久リレーマラソン」に出場した、山湯中学校男子バスケットボール部(桜が丘小メンバー含む)が見事三位に入賞しました。





まちづくり部会では発足以来、地域再発見の散策にも力を入れています。域内の見所や施設、事業所にも伺います。九月七日の「まち歩き」は参加者十六名で幟旗を掲げ「いくとびあ食花」を目指しました。六月にランドオープンした施設ですが今回は係員の丁寧な解説付

**まち歩き**  
「いくとびあ食花」再発見！  
まちづくり部会長  
富樫 純一



きです。一番から十三番まである「いくとびあキラキラガーデン」。それぞれのガーデンの持つ意味合いや見所を質疑交えながらの見学は満足する内容でした。終了時には天候のせいかわいた汗のせいか文字通り「キラキラガーデン」になっていました。汗ばんだ体に冷たい飲み物が旨い。これからも地域再発見の散策を続けて行きます。新しい発見があるかも。



参加申込

初めての試みで、育成協会と共催でのスケート教室でした。実務に乏しいコミ協育成部なので、大いにたすかりました。参加数が百人近くになりましたが、皆さん真夏のスケートを楽しんで頂けたようで、帰りに「来年もお願いします」との言葉は嬉しく、成功の言葉かと自負しています。

**親子スケート教室を終えて**  
教育・育成部会長  
浅井 広己



うまく滑れるかな



現地での説明



**「やまがたお互いさまプロジェクト活動」**  
始まる

平成二十五年度より、山潟コミュニティ協議会でプロジェクトチームとして検討されてきた「超高齢地域支え合いモデル事業」が、「やまがたお互いさまプロジェクト」として九月より開始されました。この活動の中心となる地域ボランティアには、地域の方々の加え、山潟中学校の生徒の方も参加されています。活動を開始するにあたりワークショップから始まり、関係の方々や新潟市の担当者や打ち合せや先進地域の視察も実施されました。当面の間は、ごみ捨て支援が活動の中心となりますが、すでに他の支援もお願いしたいという依頼も出されている様です。この支援事業をより円滑に進めるためには、より多くのボランティア登録が必要となります。



「だれもが住み続けたい元気で安心な山潟地区」となる様、多くの方々に参加して頂きたいと考えます。

**山潟コミュニティ協議会  
平成二十六年総会**

六月一日(日)、山潟会館二階大ホールにて、平成二十六年山潟地区コミュニティ協議会総会が行なわれました。

今年度は、総会の前に「超高齢地域支え合いモデル事業」についての説明会も行なわれました。

**健康講座開催**

去る七月十六日(水)、山潟会館二階大ホールにて、新潟医療生活協同組合の講師の方から、「あなたは「認知症」は大丈夫でしょうか？」と題した健康講座が行なわれました。



それ以後、総会となり、用意された議題に基づき議事が進んでいき、活発な意見交換がなされ閉会となりました。総会終了後には懇親会が行なわれ、皆さん親睦を深め散会となりました。